

## 豊明市文化財保護委員会会議録

日 時：令和4年4月26日（火）午後2時00分から

場 所：豊明市共生交流プラザ「カラット」内 豊明市歴史民俗資料室及びフォーラム

出席者：佐野委員、近藤委員、相場委員、鈴木委員、岡村委員、鬼頭委員、岩本委員

事務局：藤井教育部長、深草生涯学習課長、青木生涯学習課長補佐、岸田専門員

傍聴人：なし

### 1 教育部長挨拶

### 2 議題

#### (1) 歴史民俗資料室（現地見学）について

（事務局）

- ・新しくリニューアルされた体験学習室、豊明の歴史コーナー、桶狭間の戦いコーナーについて説明。

#### (2) その他協議内容

（委員）

- ・文化財保護の充実の観点から職員の配置について検討してほしい。また、共生交流プラザ「カラット」の業務委託先の「トヨタエンタプライズ」からも歴史民俗資料室を支えてもらいたい。

（事務局）

- ・職員の配置についてですが、現在、学芸員資格をもった担当は一人しかおらず業務が集中しているので、今後、学芸員の増員を図っていくことを検討したい。

（委員）

- ・豊明市としても、地域の文化財保護の充実に向けて人材確保に努めてもらいたい。

（委員）

- ・歴史民俗資料調査研究会で行うワークショップと生涯学習課の関わりについて、生涯学習課はどのように考えているのか。

（事務局）

- ・今後、生涯学習課が主催する講座も検討していきたい。先細りにならないように、様々なことを考えながら検討を進めていきたい。現段階では「桶狭間」についてのミニ企画展示を考えている。

（委員）

- ・今後、企画展のテーマ等についても、文化財保護委員会に提出してほしい。

（委員）

- ・市民からの寄贈品について、歴史民俗資料室に展示することを考えているのか。市民より、せっかく寄贈されたものは展示してもらいたい。

（事務局）

- ・今後、寄贈品の有効活用を考えていきたい。展示替えの一環として、市民からの寄贈品の展示も組み込んでいきたいと考えている。また、民具等の入った収蔵施設も定期的に見学できるよう整備していく考えである。

(委員)

- ・資料室の整備に伴い、分散した各収蔵庫から民具を一か所に集約した訳であるが、収蔵物（民具等）の整理もして行ってほしい。収蔵物について、どこに何があるのかははっきりしていないのが現状である。誰が、どのように整理していくのか。また、民具カードや目録を見直すことも考えているのか。

(事務局)

- ・今後は民具などの収蔵物の整理をしていきたいと考えている。なお、民具や土器などの整理の仕方についても検討していきたい。

(委員)

- ・他の文化施設と収蔵物の貸し借りができるように、民具など収蔵物の管理や整理をしていった方がいい。

(委員)

- ・今後、パンフレットを作成する場合、日付を明記した方がよい。